

令和3年10月1日

令和3年度 学校関係者評価報告書

学校法人南京都学園 京都動物専門学校 学校関係者評価委員会は、「令和2年度 自己点検・評価報告書」に基づき、令和3年度の学校関係者評価を実施し、以下にこれを報告いたします。

開催日時：令和3年9月24日（金）10：30～12：00

場 所：京都動物専門学校 1号館2階202教室

参加委員：中嶋慶喜（ドッグサロン・レーヴ代表）、中本敦史（学校法人南京都学園法人本部企画室次長）、平尾克英（京都福祉専門学校副校長）

教職員：木原茂弘（校長）、大塚浩也（副校長）、森岡俊樹（事務長）、寺岡朋美（教務部長）、中井澄子（進路主任）、古川竜祐（入試広報主任）

欠 席：吉田龍一郎（吉田家畜動物病院院長）、塩見孔爾（京都廣学館高等学校教育企画室室長）

評価項目と学校関係者評価・意見

評価項目	説明及び評価・意見	対応等
1 学校運営	<p>（説明）</p> <p>○職業実践専門課程について 現在、ペットビジネス学科（トリマーコース/動物看護師コース）が認定を受けている。 令和4年度は学科名及び教育課程の変更を予定しており、それに伴い、認定継続か廃止かの事象が生じる。</p> <p>○専門実践教育訓練について 職業実践専門課程と同様の事象が発生。</p> <p>○学校関係者評価委員会 今後も引き続き開催する。</p>	令和4年度からの変更に伴う、手続き・申請等に適切に対応する。

<p>2 教育活動 (カリキュラム編成)</p>	<p>(説明) 令和4年度から実施予定であるグルーミング学科及び愛玩動物看護師科(共に申請準備中)のカリキュラム(案)について。</p> <p>(評価・意見) 動物看護カリキュラムの検討に携わり、履修すべき科目1,800時間以外の学校独自科目については、実習時間を多く設定。</p>	<p>グルーミング学科に関しては、大きな変更はない。 愛玩動物看護学科に関しては、3年制及び履修すべき科目、学校独自科目、実習時間等を考慮し決定していく。</p>
<p>3 学修成果 (教育指導) (資格)</p>	<p>(説明) 令和3年度より実施する資格。 (一社)全国キャットクラブ 「キャットマイスター」 (一財)日本動物理学療法協会 「動物理学療法士」</p> <p>今後、導入検討の資格。 (一社)日本動物専門学校協会 「ペット栄養士」 「ペット栄養管理士」</p> <p>(一財)動物看護師統一認定機構「認定動物看護師」が今年度で終了。 今後は国家資格である「愛玩動物看護師」取得を目指す。</p>	<p>導入検討の資格に関しては、どの学科・コースに取り入れるかを考慮し決定していく。 同時に、資格の精査を行う。</p>
<p>4 生徒支援 (インターンシップ) (高等教育修学支援新制度)</p>	<p>(説明) ○インターンシップについて 本校は、コロナ禍(緊急事態宣言中)のインターンシップは中止とした。しかし、就職に繋がるインターンシップの中止は、生徒にとって大きな不安要因となった。</p>	<p>コロナ禍におけるインターンシップは大きな課題である。 今後どのような状況になるかはわからないなか、方法と方針を決定していく。 「受け入れる・受け入れない施設」があるのは当然である。</p>

	<p>また、動物看護師コースはカリキュラムに入っており、履修の問題もある。</p> <p>(評価・意見) 弊社は、緊急事態宣言中であってもインターンシップの受入れを行っている。ただし、感染対策の徹底や体調管理、日数及び時間の短縮を行った。 どちらかと言うと、学校側からの中止の意向が多かった。</p> <p>(説明) ○高等教育修学支援新制度 今年度の対象者は昨年とほぼ同数である。</p>	<p>学校と施設との意思・確認をしっかりと行い、可能な限り実施する方法を考えていきたい。</p> <p>対象校から外れると、生徒への支援への影響もあるが、募集にも大きな影響が考えられる。対象校として支援を受けられる環境を整えることに努める。継続のためにも定員確保が絶対である。 機関要件申請（対象校継続申請）は毎年実施されるため、要件をクリア出来るように努める。</p>
<p>5 教育環境 (施設設備) (ICT 活用)</p>	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 号館完成。 ・ 全館 Wi-Fi 完備。 ・ 2 号館空調設備入れ替え ・ 電子黒板導入 ・ 随時、LED へ変更 	<p>3 号館が完成し、2F は動物看護実習室です。愛玩動物看護師養成所としての基準は満たしております。</p>

	<p>コロナ禍では、さらに ICT 活用が必要となるため、対応していかななくてはならない。</p> <p>オンライン・対面授業の併用。 (ハイブリッド型の授業)</p>	<p>オンライン (WEB) 授業の有効活用方法を考える。</p> <p>それに伴う、機器および環境整備にも努める。</p>
<p>6 生徒の受入れ募集</p>	<p>(説明)</p> <p>今年度も募集は良い状況であります。</p> <p>今年はハイペースで進んでおり募集定員もすでに充足しております。AO エントリー数も過去最多となりました。</p> <p>昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響が心配されたが、悪い影響はなかった。</p> <p>募集定員を確保することは大事であるが、募集定員を超える受入れにも注意が必要です。</p> <p>教育の質を落とさない為にも、入試制度の改革を実施し、募集に努めることが必要である。</p> <p>(評価・意見)</p> <p>募集状況が良い状況ですが、要因としては何なのか。動物看護師が国家資格化されることで、好調なのは理解できますが、グルーミング学科 (申請準備中) も好調なのはなぜなのでしょう。</p> <p>動物系の学校でも地域によって、募集状況が厳しいところもあると聞いている。</p>	<p>今後も募集定員を超えることが予想される。入試制度の改革として、特に AO 入試・指定校推薦の在り方、選抜試験導入などを考え最善の方法を構築する。</p> <p>それにより、定員厳守ならびに生徒の質向上・優秀な人材の輩出をめざす。</p> <p>また、教育理念・校訓・教育目的・3つのポリシーから、京都動物専門学校を明確化し、募集により反映させることを目指す。</p> <p>広報面も従来通り、丁寧な活動を継続する。</p> <p>ひとつの要因として、丁寧・親切な個別対応であると言える。特に、LINE (SNS 関係) による対応に力を入れたことが、良かったのではないかと。</p> <p>他にも、コロナなど様々な要因があるが、分析はしきれてはいない。</p> <p>グルーミング学科に関しては、メディカルトリマーがポイントになっていると考える。</p>

<p>7 社会貢献・地域貢献</p>	<p>(説明)</p> <p>コロナ禍という状況もあり、計画通りの実施は出来ていない。動物看護師コースのボランティア活動も何とか実施できたが、活動範囲の制限が生じるため思った活動には至らなかったが、毎年続けている、生徒がグッズを制作・販売し得た利益で寄贈品を購入、京都動物愛護センターへ寄贈する活動は実行できた。</p>	<p>コロナの影響で、あらゆるイベントが中止となった。動物関係のイベントも中止となり参加できなかった。</p> <p>状況次第ではあるが、可能な限りイベント等には参加し、人・地域・社会との繋がりを体現できる機会をつくる事を考える。</p>
--------------------	--	---

以上